

1. 科目名（単位数）	総合的な学習の時間の指導法（初等）（2 単位）	3. 科目番号	SJMP2216 EDTE2311
2. 授業担当教員	沼澤 清一		
4. 授業形態	講義、演習、討議	5. 開講学期	春期・秋期
6. 履修条件・ 他科目との関係			
7. 講義概要	「総合的な学習の時間は、探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、実社会・実生活の課題をよりよく解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力の育成を目指す」学習であることを理解し、児童に指導できるようにするための探究学習に関する基礎的な知識・技能を身に付けるとともに、学校において編成する指導計画や指導方法のあり方、考え方を習得し、実践できる資質・能力を身に付けるようにする。		
8. 学習目標	1. 総合的な学習の時間の意義や、各学校において目標及び内容を定める際の考え方を理解する。 2. 総合的な学習の時間の指導計画作成の考え方を理解し、その実現のために必要な基礎的な能力を身に付ける。 3. 総合的な学習の時間の指導と評価の考え方および実践上の留意点を理解する。		
9. アサイメント （宿題）及びレポート課題	【課題レポート】 ・次の①と②を課題レポートとする。 ① 第5回の講義までに学んだ内容に関するレポート（具体的課題については授業内に示す）。 ② 指導計画・学習計画（模擬授業発表後）。 ・ 振り返りシート 毎回の講義終了後、講義によって何が解決され、何が解決されなかったのか、また、自分自身はどのような考えを持ったのかなどについてまとめ、講義終了の翌日までに提出する。		
10. 教科書・参考書・ 教材	【教科書】『小学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説 総合的な学習の時間編』 東洋館出版。 【参考資料】授業実践記録「東根のサクランボ」 沼澤清一作。		
11. 成績評価の規準と 評定の方法	○成績評価の規準 総合的な学習の時間の意義や、各学校において目標及び内容を定める際の考え方、指導計画作成の考え方指導と評価の考え方などについて、説明できるとともに、実践上の留意点を身に付ける。 ○評定の方法 各時間の学習記録・レポート 50％、授業に臨む態度（発言・発表）30％、日常の学習状況（出席・提出物）20％		
12. 受講生への メッセージ	総合的な学習の時間は、新学習指導要領の意図が大きく反映されています。これからの子供たちを育てていく核となる存在です。授業づくりについて、新しい視点をもって学んでいきましょう。		
13. オフィスアワー	初回授業時に伝える。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション ・総合的な学習の時間の学習経験を基に、学習からどのようなことを学び、身に付けたのか、相互に発表し合い、総合的な学習の時間の指導における、教員の役割を考える。	事前学習	シラバスを読んでおく。過去の「総合的な学習の時間」の学習経験を思い出す。
		事後学習	総合的な学習の時間の指導における教員の役割をまとめる。
第2回	総合的な学習の時間の意義 ・新旧学習指導要領の比較を通して、現在の学習指導要領に求められていることをその全体像から捉え、資料をもとにグループで話し合い、発表し合う。	事前学習	今、求められる力について、教科書を基に考えてくる。
		事後学習	総合的な学習の時間を全体像から捉えて、核心となるところ、疑問点などをまとめ、より具体的に学んでいく第3回～第5回への学びの視点としてまとめる。
第3回	目標の構成 学習の在り方 ・探究的な見方・考え方を働かせるためには、どのような指導を行えば良いのかについて、資料を調べ、グループで話し合い、考えを発表し合う。 授業実践をもとに見識を深める。①	事前学習	教科書 pp. 8～11 を読んでおく。
		事後学習	総合的な学習の時間は、探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行う学習であることを、教科書 pp. 8～11 を読み、まとめる。
第4回	目標の構成 学習の在り方 ・横断的・総合的な学習を行うための探究課題の設定の仕方、 ・よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力、 資料を基に調べ、どのように学習を進めればよいのか話し合い、発表し合う。 授業実践をもとに見識を深める。②	事前学習	各教科で身に付ける見方・考え方と総合的な時間で身に付ける資質・能力について、教科書 pp. 11～13 を基に調べておく。
		事後学習	各教科で身に付けた力を活用して、実社会・実生活の課題を探究する汎用的な資質・能力を育てる学習であることまとめる。
第5回	総合的な学習の時間で育成する資質・能力 ・「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」の三つの柱から捉え、探究の学習過程を身に付けさせるための能力や方策について考え合い、発表する。 授業実践をもとに見識を深める。③	事前学習	各教科を越えて必要となる基礎的な能力とは何かについて教科書 pp. 13～17 を読んでおく。
		事後学習	探究過程で必要な資質・能力について、三つの柱から捉え、学習結果を基にまとめる。
第6回	各学校が定める総合的な学習の探究課題 ・各学校の教育課程の目標を達成するために、どのように探究課題を設定したら良いかについて、授業実践記録をもとに考察し、グループで話し合い、発表する。	事前学習	学校で総合的な学習の目標や内容を定める際の考え方について、教科書を読んでおく。
		事後学習	カリキュラム・マネジメントの考え方を復習し、課題設定の仕方について話し合われたことについて整理しておく。

第7回	各学校で定める学習内容・探究課題 ・探究課題の連続性とその深化を重視した授業構成のあり方について、授業実践記録をもとに考察し、グループで話し合い、発表する。	事前学習	総合的な学習としてふさわしい内容について、教科書で扱われている内容について読んでおく。
		事後学習	内容を定める条件を整理するとともに、学習対象となる内容について教科書や話し合いを基に、まとめる。
第8回	総合的な学習の時間の指導視点 ・グラフをもとにした資料活用力など他教科で身に付けた能力をもとに課題を導き出し、生活の場をもとに解決していく学び方について、授業実践記録をもとに考察し、グループで話し合い、発表する。	事前学習	総合的な学習の時間の学習指導について、教科書を読んでおく。
		事後学習	各教科で身に付けた力を活用して、実社会・実生活の課題を探究する汎用的な資質・能力を育てる学習であることをふり返り、まとめる。
第9回	総合的な学習の時間の学びについて ・総合的な学習の時間において、主体的・対話的で深い学びになるようにするにはどういう学びを導けば良いかについて、授業実践記録をもとに考察し、グループで話し合い、発表する。	事前学習	総合的な学習の時間の学習指導について、教科書を読んでおく。
		事後学習	総合的な学習の時間の学習指導に必要な条件を整理し、主体的・対話的で深い学びにするための話し合いの結果をまとめる。
第10回	総合的な学習の時間の評価 ・授業実践記録をもとに、学習の成果の取り上げ方をしらべ、目標に準拠した評価規準をどのように考えるかを話し合い、発表し合う。	事前学習	総合的な学習の時間の評価の在り方について、教科書を読んでおく。
		事後学習	探究学習の指導のポイントの中に評価の観点があることに気づき、目標に準拠した評価規準が作成できるように、話し合いを基にまとめる。
第11回	総合的な学習の時間の指導計画の作成 ・総合的な学習の目標・内容を想起させ、課題追究のための指導計画を作成する。	事前学習	指導計画作成に向けて、参考書をよんで、学習対象を探しておく。
		事後学習	自分の追究しようとしている課題についてまとめておく。
第12回	総合的な学習の時間の学習計画の作成 ・総合的な学習の目標・内容を想起させ、課題追究のための指導計画を作成する。	事前学習	指導計画をまとめておく。
		事後学習	指導計画の発表について準備を進める。
第13回	指導計画の発表と授業後の意見交換 ・指導計画を発表する。 ・授業後に意見交換をして学んだことをまとめる。	事前学習	全体場で発表できるように資料作成を行う。
		事後学習	各発表から学んだことを整理する。
第14回	指導計画の発表と授業後の意見交換 ・指導計画を発表する。 ・授業後に意見交換をして学んだことをまとめる。	事前学習	全体場で発表できるように資料作成を行う。
		事後学習	各発表から学んだことを整理する。
第15回	総合的な学習の時間の指導のポイント ・15回の学習から得られた知見について、目標・内容の設定、探究活動のポイントなど、視点ごとに振り返り、この学習のまとめを行う。	事前学習	学びの過程を振り返っておく。
		事後学習	「総合的な学習の時間」の学習を通して、学んだこととこれからの課題についてレポートを書く。